

議会報告会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和2年11月14日（土） 13:30 ～ 14:40
開催場所	三河台学習センター（2階ホール）
出席議員及び 役割分担	班長： 萩原太郎 副班長： 鈴木正実 司会： 鈴木正実 報告者：（総務） 羽田房男 、（文教福祉） 山田 裕 （経済民生） 高木直人 、（建設水道） 石原洋三郎 （新庁舎西棟建設調査特別委員会） 真田広志 記録者： 小松良行
参加人数	8人（内訳：男性 4人、女性 4人）
議会報告会の 報告に対する質疑	報告に対する質疑については、意見交換会にて伺っているため、 「意見交換会の概要」に併せて記載しております。

令和2年11月24日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 3班 班長 萩原 太郎

意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和2年11月14日（土） 13:30 ～ 14:30
開催場所	三河台学習センター（2階ホール）
出席議員及び 役割分担	<p>座長： 萩原 太郎</p> <p>司会： 鈴木 正実</p> <p>班員：（総務）羽田 房男、（文教福祉）山田 裕 （経済民生）高木 直人、（建設水道）石原洋三郎 （新庁舎西棟建設）真田 広志</p> <p>記録者： 小松 良行</p>
参加人数	8人（内訳：男性 4人、女性 4人）
意見交換会の概要	<p>1. 古関裕而ストリートについて</p> <p>Q1：古関裕而を活かしたまちづくりが進められ駅前通りからレンガ通りまでを「古関裕而ストリート」と位置付けているが、新聞や各種報道では相変わらず「駅前通り」「レンガ通り」と称しており一貫性を欠き問題ではないか？</p> <p>A1：本市はNHK連テレビ小説「エール」を活かしたまちづくりを進め、レンガ通りの装飾や古関裕而青春館をオープンするなど回遊性に努めているが、仰るとおり現在「古関裕而ストリート」と言う通り名は市民に浸透していない。認知度を高めるための施策の充実や取り組みが必要だろう。貴重なご意見として承る。</p> <p>2. 不登校問題と夜間中学設置について</p> <p>Q2：不登校児童生徒の問題は深刻である。現状の理解はもとより、いじめ等様々な理由で学校へ行けない人は多くあり、学びの機会の重要性から夜間中学設置の必要性を訴えてきている。市議会の見解を伺う。</p> <p>A2：不登校児童が増加傾向であることは認識している。最近のコロナ禍も重なり子どもたちを取り巻く状況の変化にも注視し、いじめをなくす取り組みを更に強化して行く必要があるだろう。夜間中学設置の必要性も理解するところだが、ニーズや課題についての検討が必要であり、ご提言として承る。</p> <p>3. 郡山市の改装飲食店プロパンガス事故について</p> <p>Q3：プロパンガス爆発事故をみて、本市でも同様事故が発生しないか大変心配である。消防署の点検等どのようなになっているのか伺う。</p> <p>A3：基本的には、設置者とプロパンガス会社が必要な点検実施し、事故防止に努めなければならないものとする。防止に向けた取り組みについては議会では議論されていないが、今後、当局に確認したい。</p> <p>4. 古関裕而を記念したコンクールの開催について</p>

- Q 4** : 朝ドラ「エール」を活かしたまちづくりが進められているが、古閑裕而に関連付けたコンクールを創設すべきと考えるが、見解を伺う。
- A 4** : 経済民生常任委員会の所管事務調査において、各種イベントの開催や古閑裕而音楽コンクールについても提言を行ったところである。貴重なご意見として承る。
- 5. 新まちなか広場について**
- Q 5** : 新まちなか広場整備事業の概要について説明を伺ったが、若者の交流の場として大変期待している。詳細を伺いたい。
- A 5** : ひろば東側に屋根を付けて、可動式ステージ、ベンチを設置し、イベントや交流、まちなかの回遊拠点となるよう令和 4 年度内のオープンを目指している。また、まちなかの防災機能も有する公園整備に努めて行く計画である。
- 6. 空き家対策について**
- Q 6** : 町内で空き家が増えている。防犯上からの不安もあることから本市の対策について伺う。
- A 6** : 問題のある空き家については、福島市も空き家等対策計画を策定し、空き家等発生抑制を図ることを基本方針に、予防施策を講じております。また、不動産関係団体との連携を強化し、中古物件の流通を推進（空き家バンク）しており、相談にも応じるようになっている。
- 7. ごみ置き場、分別ごみについて**
- Q 7** : 本市は、1 人当たりの家庭ごみ排出量が全国ワースト 1 になるなど、減量化と分別収集の徹底が必要であると思う。有料化すると聞いたが反対だ。また、外国人が町内会のルールを守らないようだ。見解を伺う。
- A 7** : 平成 27 年度に福島市の 1 人当たりゴミ排出量が人口 10 万人以上の都市で全国最多となった。1 日 1 人当たりの排出量 890 g (20%減量) を目指し取り組みを強化している。「目標が達成できない場合はごみ処理の有料化もやむを得ない」とした廃棄物減量等推進審議会の答申はあったが、これは前提ではないと理解している。今後とも市民みんなで減量に努めることや外国人も含めて収集日、分別ルールの徹底にも意を用いるべきであると考えている。
- 8. 福島駅西口のトイレについて**
- Q 8** : 10 年ぐらい前になるが、意見交換会で駅西口に市でトイレを作ってほしい旨要望し、議員さんの回答では実現できるものと思っていたが、未だに実現していない。再度要望する。
- A 8** : 議員の立場で設置の確約はしていないと思う。確かにそのような意見があったことや必要性も理解するところである。ご指摘の深夜・早朝発着のツアーバス旅行者に支障をきたしているとのことであるが、旅行者には、近くのコンビニを利用するよう案内している。なお、再度の要望については承る。

9. 駅前再開発コンベンション施設について

Q9：福島駅東口再開発によるコンベンション施設の建設で、観光バスや送迎バスの駅前通りの駐停車が予想されるがバス停留場所等の対策はどのように考えているのか伺う。

A9：ご懸念は理解するところであり、交通渋滞が発生しないよう今後検討がなされると思うが、私案として申し上げますと、例えばまちなか広場前に横付けし、少し歩いて会場に向かってもらうことで回遊性も生まれ、お土産等買い物をしてくれるのではないかと。また、送迎バスの停留所は西口バスプールや市役所駐車場を活用するなど考えられると思う。なお、貴重なご意見として承り、駅前再開発計画の協議の場で確認して行く。

10. 駅前アーケードの撤収について

Q10：駅前通りを歩くのに大変便利だったアーケードがなくなり残念だ。どうして解体してしまったのか伺う。

A10：駅前通りの店舗事業者や商店会が耐震基準の適合及び将来にわたる維持・改修の在り方を検討した結果、その財政負担に耐えられないと判断し、国の補助事業があるうちに撤収することとなったと聞き及ぶ。しかし、歩道の再整備により、見通しもよく綺麗になったことから、最近では駅前通りのイベント事業が頻繁に開催されるようになるなど、回遊性の向上や駅前通りの活性化に役立つようになった。ご理解をいただきたい。

令和2年11月24日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 3班 班長 萩原 太郎